

人と犬との  
関わり方

# 犬は子どもの 心を育てる

心を育てる



エヴァーグリーン・  
ドッグ・フィールド  
代表 森 一彦

その昔、アメリカのユーモア作家であり俳優でもあるロバート・ベンチリーの言葉に「犬が子どもに教えらるるのは忠誠心、忍耐力、そして三べん回っておじぎをすること」というのがあります。犬博士のスタンレー・コレンは「最近になってようやく科学がベンチリーに追いつき、子どもはペット（とりわけ犬から）学ぶことが沢山ある」という事実を証明した」と言っています。子どもは犬の尻尾をつねたり引つ張ったりすると、相手が嫌がって逃げることを学び、体を撫でて、静かにやさしい言葉をかけ、ごほうびをあげれば、犬は近寄ってきて一緒に遊び、うれしそうにすることを学びます。「自分の行動に対する相手の反応を知ることを通して、私たちは感情移入する力や認識力、知覚力、そして間接的には周囲の人たちへの思いやりを育てることが出来る。感情移入の能力を発達させた人は、人の身になって考えるようになる。つまり他の人たちの気持ちや考えを、的確に解釈できるようなになるのだ。」と述べています。

オレゴン州立大学で行われた研究では、ペットを育て、その世話をするところが、子どもの心理面に実質的な効果をもたらすことが示されました。研究者たちは就学前の子どもたちに、子犬の世話の仕方を教え、後に調べた結果、毎日のように子犬の世話をした子どもは、社会的な能力が高まったのです。一般的に、これらの子どもは仲間との触

れ合いが上手で、他の子どもたちの気持ちや欲求を理解する能力が高く、これらの子どもたちは自分についてプラスの見方をし、自分に自信があったそうです。

研究に参加したスー・デーシャーはこう報告しています。「結果として、子どもたちの協調性や思いやりが高まった。ペットを飼うと子どもの中で役割分担の能力が高まるのは、ペットの立場に自分の身を置き換え、相手の気持ちを理解しようとするためである。そのことが他の子どもとの接触にも反映される。」

コレン博士はこうも言っています。「子どもがいる家庭でペットを飼うに当たっては、マイナス面についても考えておかなければならない。子どもとペットが触れ合うことは大切だが、同時に親が手本を示す必要もあるのだ。ペットは物ではなく感情を持った生きものであり、あなたの暮らしに取り込むことを選んだ相手でもある。あなたが気まぐれで子どもにペットをあたえ、その後、手に負えなくなつて、動物を目の前から消すために動物愛護団体や施設に送つたとしたら…。結果としてあなたは自分の子どもに、気持ちの絆は安易であり使い捨て同然だと教えることになる。また、たとえペットを飼い続けても、自分のいらだちや怒りを敵しいしつけや罰の形であらわしたとしたら…。あなたは自分の子どもに、暴力をふるってもかまわないと教えることになる。研究結果による

と、ペットを途中で見捨てた家庭に育つた子どもは、感情的な絆を永遠には続かない価値のないものとして扱う傾向が強い。彼らは親のやり方を見習い、自分が大人になつたときペットと感情的な絆を作りあげず、ペットを施設に送つてしまいがちである。同様に、ペットがしじゅう罰を受け、手荒に扱われた家庭に育つた子どもは、大人になつたときにペットや自分自身の子どもに対して、同じように腕力に物を言わせる方法をとりがちである。あなたが愛情と理解を示しながら犬を育てるなら、たとえばつきりつけじめをつけながらしつけても、無条件の愛が生まれるゆとりはある。それがあなたの子どもにとって、生涯指針とすべき写真となる。」



「犬を飼うのは情操教育上良い」とよく言われますが、親が身を以て示してこそその情操教育であるということが言えるでしょう。犬が子どもを育てるのではなく、親が犬の力を借りて子どもを育てるといのが正しい情操教育の在り方だと小生は考えるのですが、如何でしょうか？

遊ぶ 学ぶ かかり合う…Wan倶楽部  
**Evergreen Dog Field**  
ドッグラン・ドッグカフェ・飼い方相談  
福島県郡山市熱海町高玉字抜山1-1 磐梯熱海ICから約6分  
☎024-994-0811 | エヴァーグリーンドッグフィールド | 検索  
福島県19郡(保健第21号・訓練第5号(有)Evergreen Dog Field  
登録年月日H19年4月6日 有効期限の末日H24年4月5日 動物取扱責任者 森一彦